

1 旭川市の現況

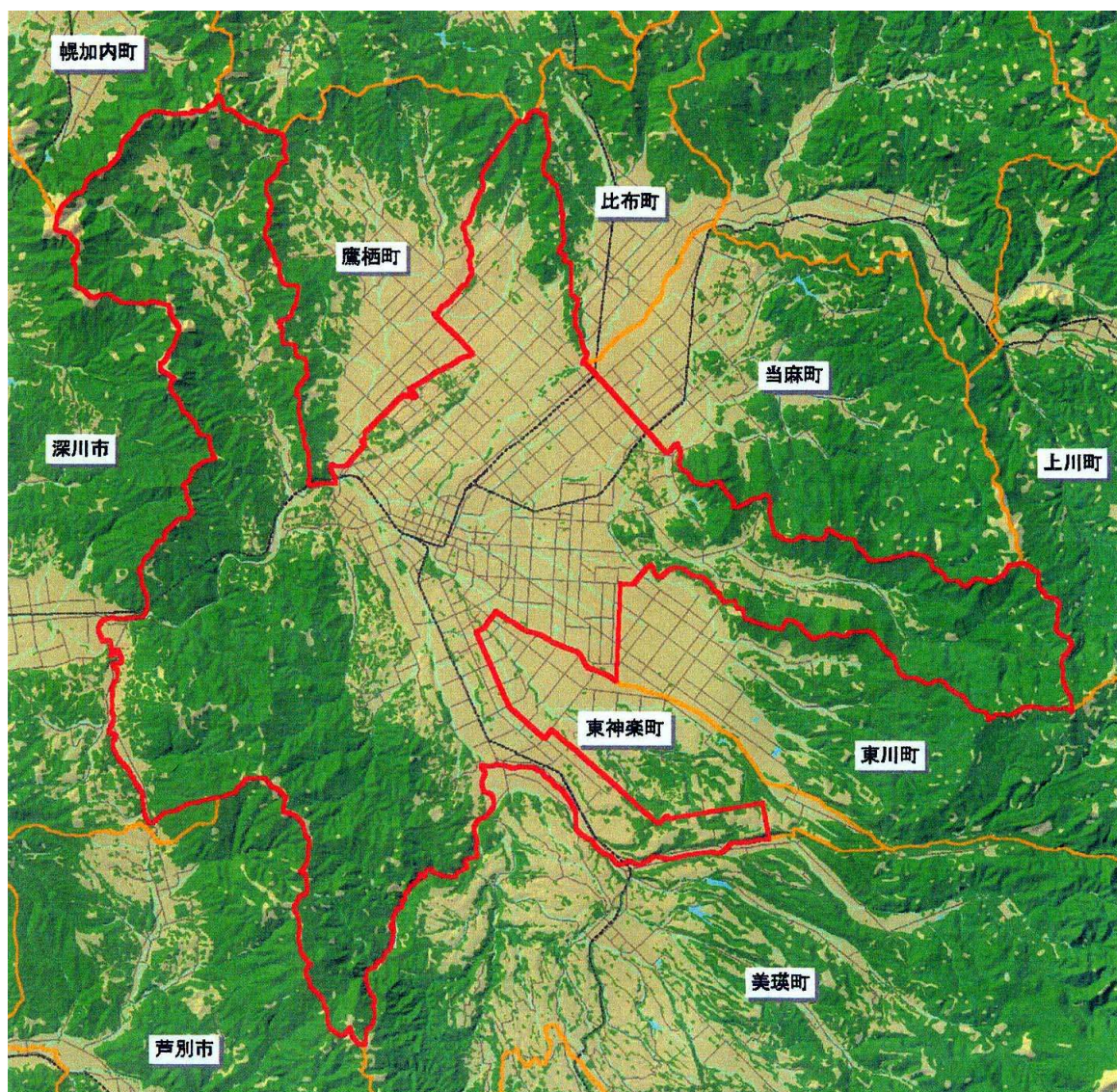
1-1)旭川市の概要

旭川市は、東経142度21分、北緯43度46分、標高112m(いずれも旭川市役所所在地)の北海道のほぼ中央部上川盆地に位置しています。

大正11年(1922年)の市制施行時に約6.2万人であった人口は、現在では約31万人を有する北海道の中核都市となっています。

本市は、上川圏に入植した屯田兵、農業入植者のための消費提供型都市と旧陸軍の第7師団を擁する軍事都市として成長しました。戦後数年の市街地は、現在の都心周辺を中心に約20km²強の広がりでしたが、昭和30年代からの隣接市町村との合併の結果、現在では747.66km²の行政面積を有し、鷹栖町や比布町、当麻町、東川町、東神楽町と楔型に接する行政域を有しています。

■旭川市の地勢



※出典：上川支庁資料

1-2) 人口・世帯

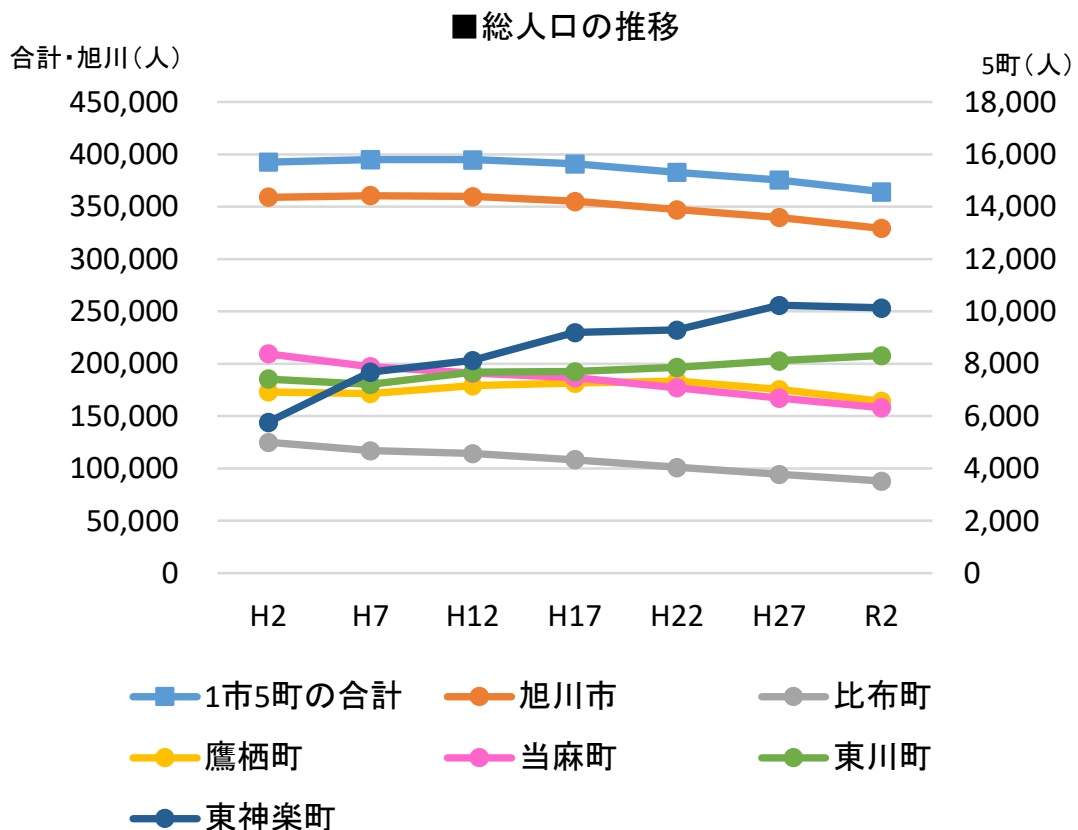
① 総人口と人口動態

旭川市の総人口は約33万人（R2）で、推移をみると微減の傾向にあります。旭川圏内の1市5町村の合計は約36.4万人（R2）で近年、若干の減少がみられます。一方で東川町では人口増の傾向にあります。

| | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1市5町の合計 | 392,569 | 394,902 | 394,718 | 390,973 | 382,720 | 375,437 | 364,153 |
| 旭川市 | 359,071 | 360,568 | 359,536 | 355,004 | 347,095 | 339,605 | 329,306 |
| 比布町 | 5,004 | 4,683 | 4,576 | 4,340 | 4,042 | 3,781 | 3,520 |
| 鷹栖町 | 6,930 | 6,871 | 7,165 | 7,261 | 7,345 | 7,018 | 6,567 |
| 当麻町 | 8,383 | 7,893 | 7,643 | 7,473 | 7,087 | 6,689 | 6,319 |
| 東川町 | 7,418 | 7,211 | 7,671 | 7,701 | 7,859 | 8,111 | 8,314 |
| 東神楽町 | 5,763 | 7,676 | 8,127 | 9,194 | 9,292 | 10,233 | 10,127 |

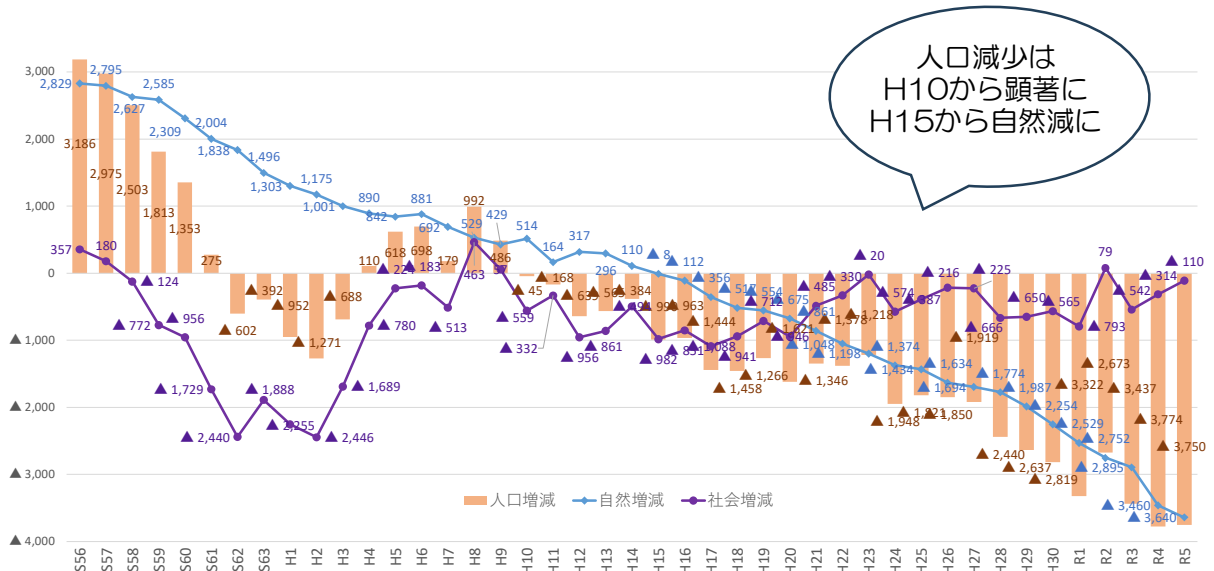
(人)

※国勢調査

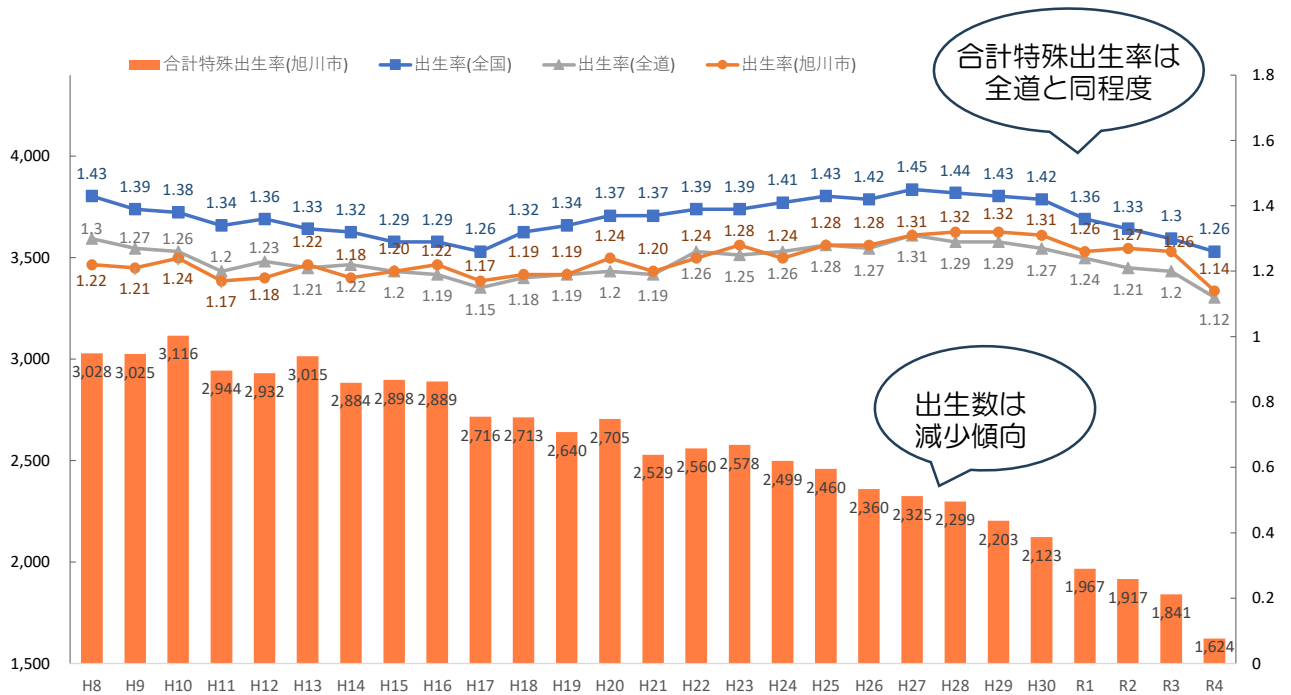


また、旭川市の人口減少は平成10年から顕著になっています。近年、社会減はおおむね横ばいで推移していますが、自然増減は、平成15年から減少に転じ、年々大きくなっています。出生率は、平成13年頃の約3,000人から一貫して減少傾向にあり、令和4年には約1,600人程度と20年間で半減しました。

■旭川市の人口減少の動向



■旭川市の出生数の低下



② 世帯数動態

旭川市の世帯数は約15.6万世帯（R2）で、推移をみると顕著な増加傾向がみられます。また、世帯人員数は、2.02人（R2）で小規模化が進んでいます。

旭川圏内の1市5町村の合計世帯数は、約17万世帯（R2）で増加傾向がみられ、旭川市、当麻町、東川町、東神楽町で増加傾向が見られます。平均世帯人員数の減少傾向はいずれの市町村もほぼ同様ですが、なかでも旭川市の平均世帯人員数はほぼ2人となるなど、小規模世帯化の傾向が顕著です。

■旭川市・周辺5町の世帯数の推移

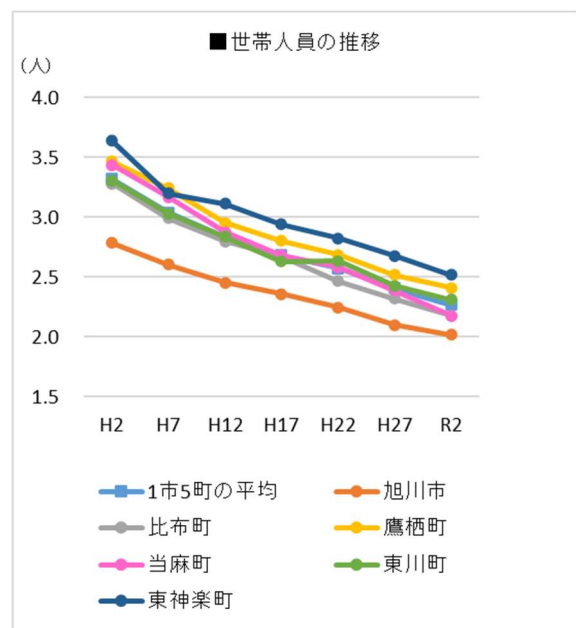
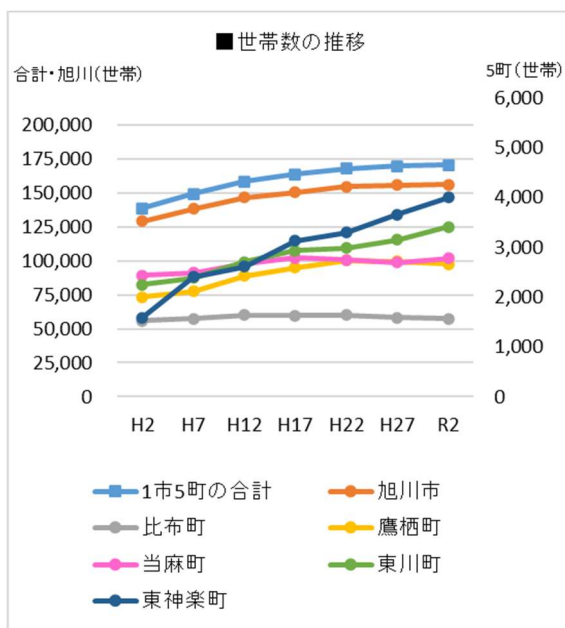
| | (世帯) | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 |
| 1市5町の合計 | 138,710 | 149,303 | 158,431 | 163,438 | 167,780 | 169,553 | 170,590 |
| 旭川市 | 128,924 | 138,350 | 146,400 | 150,384 | 154,393 | 155,747 | 156,195 |
| 比布町 | 1,524 | 1,565 | 1,636 | 1,625 | 1,639 | 1,586 | 1,563 |
| 鷹栖町 | 1,998 | 2,118 | 2,427 | 2,591 | 2,732 | 2,717 | 2,658 |
| 当麻町 | 2,438 | 2,490 | 2,657 | 2,784 | 2,743 | 2,698 | 2,773 |
| 東川町 | 2,243 | 2,380 | 2,702 | 2,927 | 2,983 | 3,148 | 3,405 |
| 東神楽町 | 1,583 | 2,400 | 2,609 | 3,127 | 3,290 | 3,657 | 3,996 |

※国勢調査

■旭川市・周辺5町の世帯人員数の推移

| | (人) | | | | | | |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 |
| 1市5町の平均 | 3.32 | 3.04 | 2.84 | 2.68 | 2.57 | 2.41 | 2.27 |
| 旭川市 | 2.79 | 2.61 | 2.46 | 2.36 | 2.25 | 2.10 | 2.02 |
| 比布町 | 3.28 | 2.99 | 2.80 | 2.67 | 2.47 | 2.32 | 2.18 |
| 鷹栖町 | 3.47 | 3.24 | 2.95 | 2.80 | 2.69 | 2.52 | 2.41 |
| 当麻町 | 3.44 | 3.17 | 2.88 | 2.68 | 2.58 | 2.39 | 2.18 |
| 東川町 | 3.31 | 3.03 | 2.84 | 2.63 | 2.63 | 2.43 | 2.31 |
| 東神楽町 | 3.64 | 3.20 | 3.11 | 2.94 | 2.82 | 2.68 | 2.52 |

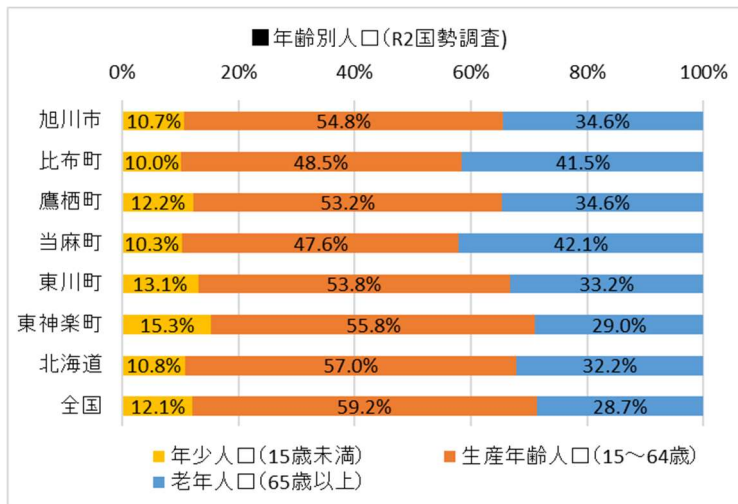
※国勢調査



③ 高齢化・少子化

旭川市の年齢別人口構成は、年少人口が約11%、生産年齢人口が約55%、老年人口が約35%で、全道の構成比と概ね同じになっています。老年人口の推移をみると年々増加傾向が進み、旭川市では35%近く（R2）になっています。圏域では比布町、当麻町の老年人口率が42%（R2）と高くなっています。

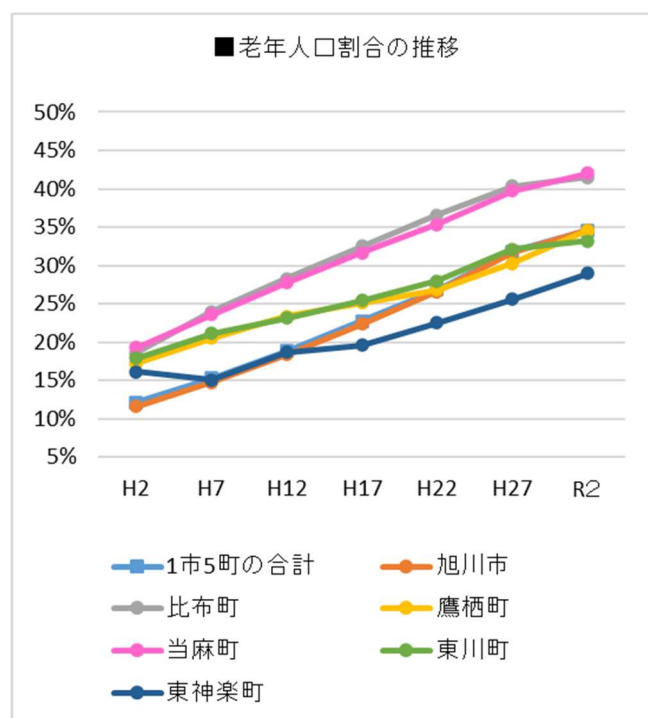
■人口構成比と老年人口割合の推移



■老年人口割合の推移

| | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1市5町の合計 | 12.1% | 15.3% | 18.8% | 22.7% | 26.8% | 31.8% | 34.6% |
| 旭川市 | 11.6% | 14.8% | 18.3% | 22.4% | 26.6% | 31.8% | 34.6% |
| 比布町 | 18.6% | 23.9% | 28.3% | 32.5% | 36.6% | 40.3% | 41.5% |
| 鷹栖町 | 17.2% | 20.5% | 23.3% | 25.1% | 26.8% | 30.3% | 34.6% |
| 当麻町 | 19.3% | 23.6% | 27.7% | 31.6% | 35.3% | 39.8% | 42.1% |
| 東川町 | 17.9% | 21.2% | 23.2% | 25.5% | 28.0% | 32.1% | 33.2% |
| 東神楽町 | 16.2% | 15.1% | 18.6% | 19.6% | 22.5% | 25.6% | 29.0% |

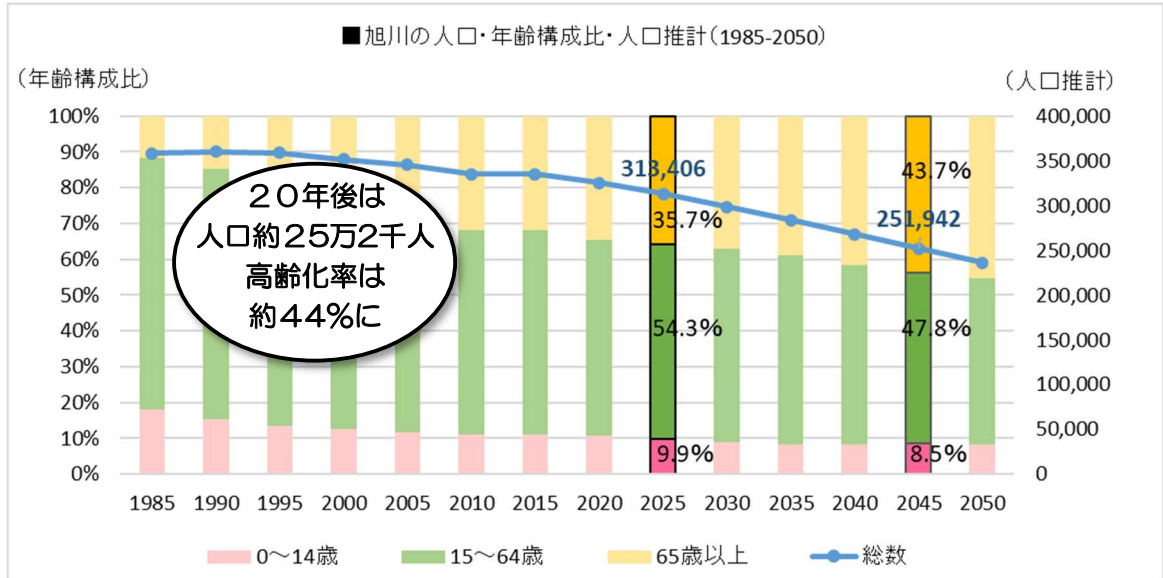
※国勢調査



旭川市の将来人口推計では、20年後の2045年頃には約25万2千人となり、高齢化率は、現在の約35%から約44%に増加することが予測されています。

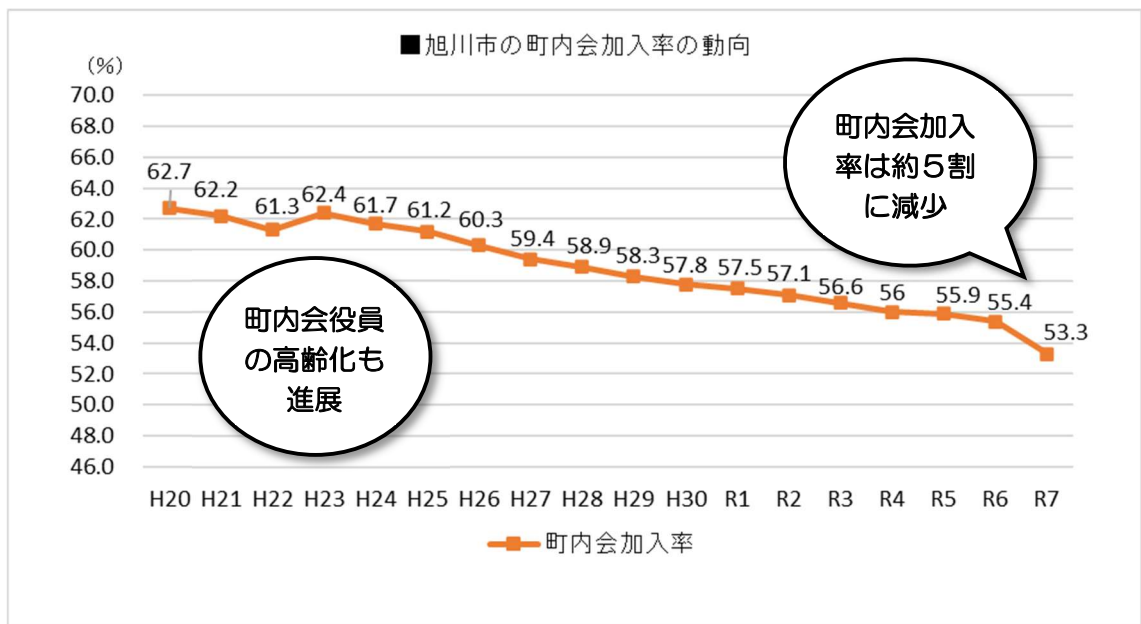
また、町内会への加入率は、この10年で約60%から約50%まで低下しており、将来の高齢社会の到来とともに、地域コミュニティの活力低下が懸念されます。

■旭川市の将来人口推計



※R2までは国勢調査，R7以降は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計

■旭川市の町内会加入率の動向



1-3) 気象

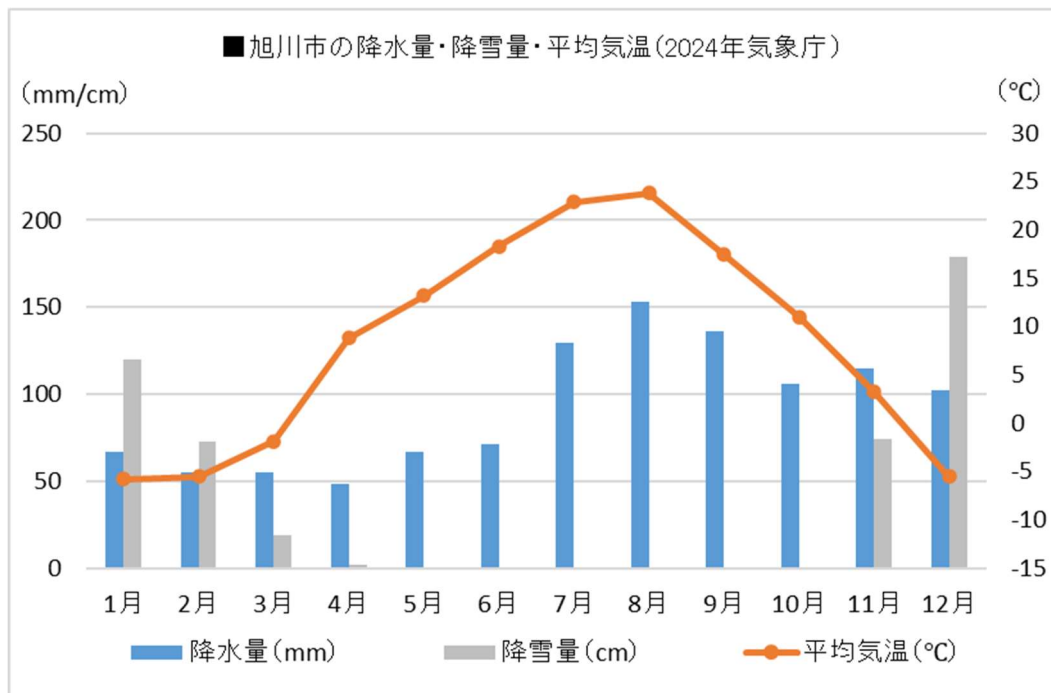
① 気候

旭川市は、盆地特有の気候で、夏期の最高気温は30℃を超え、冬期の最低気温は-20℃以下になるなど、「夏は暑く、冬は寒い」寒暖差の激しい内陸性気候です。特に冬期は、最深積雪の平年値は1m近くと、我が国でも有数の積雪寒冷の厳しい気象条件となっています。

また、風は強くなく、秋～冬に周辺河川による川霧が発生するなどの特徴があります。

■旭川市の降水量・降雪量・平均気温（2024年気象庁）

| | 降水量(mm) | 平均気温(℃) | 降雪量(cm) |
|-----|---------|---------|---------|
| 1月 | 66.9 | -5.8 | 120 |
| 2月 | 54.7 | -5.5 | 73 |
| 3月 | 55 | -1.9 | 19 |
| 4月 | 48.5 | 8.8 | 2 |
| 5月 | 66.6 | 13.2 | - |
| 6月 | 71.4 | 18.3 | - |
| 7月 | 129.5 | 22.9 | - |
| 8月 | 152.9 | 23.8 | - |
| 9月 | 136.3 | 17.4 | - |
| 10月 | 105.8 | 11 | - |
| 11月 | 114.5 | 3.2 | 74 |
| 12月 | 102.4 | -5.5 | 179 |

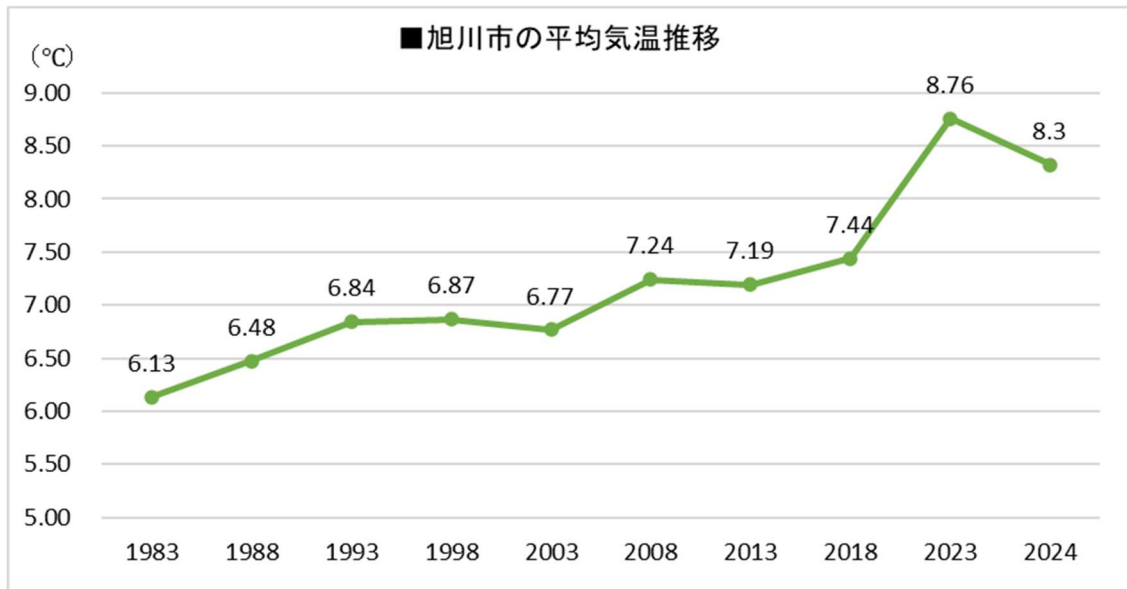


※気象庁データ

② ヒートアイランド化の動向

旭川の市街地の気温は、この40年で2.6℃上昇しており、ヒートアイランド化の傾向がみられます。みどりの温度抑制によるクールアイランド効果は、市街地環境の改善方策の一つとして考慮していく必要があります。

■市街地のヒートアイランド化の傾向



<観測地点>

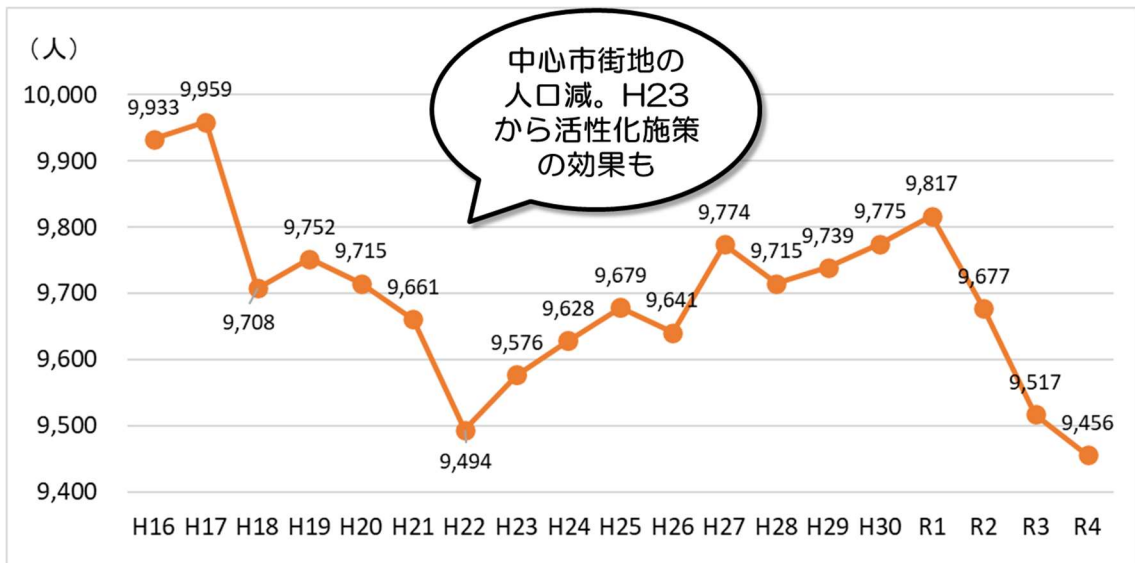
2004年以降：旭川市宮前通東4155番31（合同庁舎）

2004年まで：旭川市8条通11丁目

1-4) 中心市街地の動向

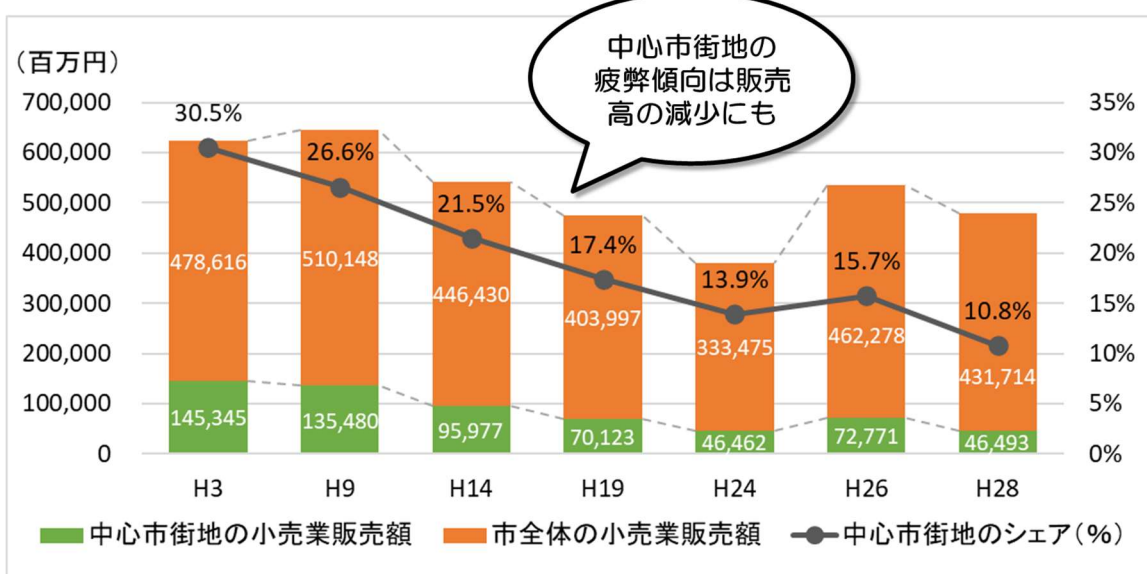
旭川市の中心市街地は、車社会と市街地拡大などにより、その活力低下が顕著となっています。居住者数の減少、売上高の減少、歩行者通行量の減少などが進展してきましたが、旭川市では中心市街地活性化基本計画（令和5年）を策定し、にぎわいづくりの施策展開を図っており、中心市街地の魅力づくりを担う要素として、みどりのあり方が重要となっています。

■ 中心市街地の居住者数の推移



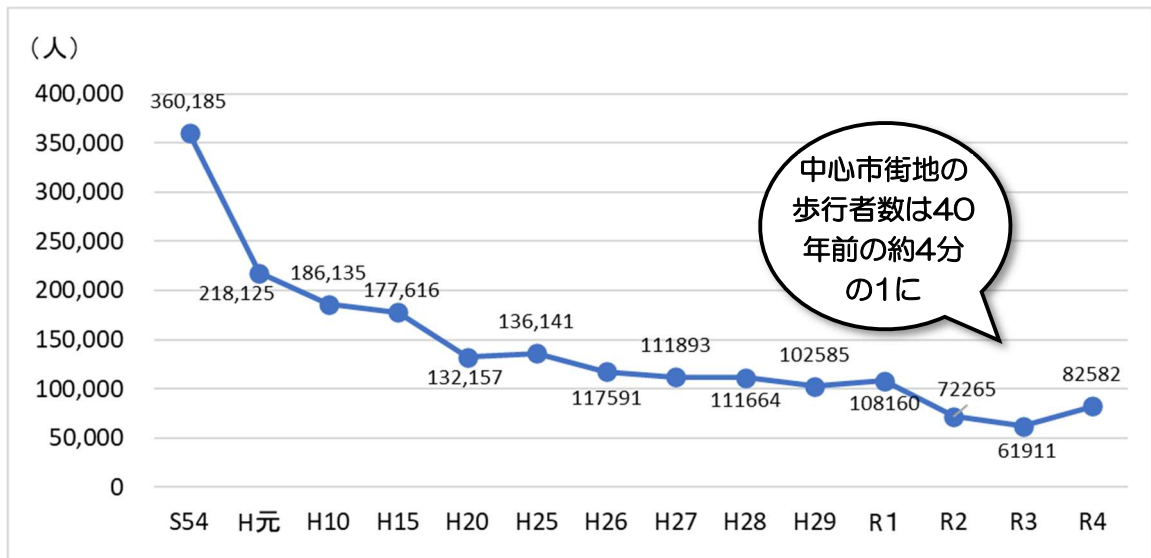
※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定

■ 中心市街地の小売年間販売額の推移



※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定

■ 中心市街地（平和通買物公園）の1日あたりの平均延べ通行量の推移



※旭川市中心市街地活性化基本計画【改訂版】令和5年3月改定